

第41回札幌アイスホッケー選手権大会開催要項

(一財)札幌アイスホッケー連盟

1 主催 (一財)札幌アイスホッケー連盟・北海道新聞社・道新スポーツ

2 期 日 平成27年10月～平成28年1月

3 会 場 札幌市月寒体育館・札幌市星置スケート場

4 出場資格

- ① 平成27年度(一財)札幌アイスホッケー連盟に加盟済みの一般・大学チームとする。
- ② 試合出場選手は連盟に登録した選手とする。追加選手登録も認める。他連盟からの移籍選手は所定の移籍手続き完了させたいえ、住民票を添付し、本大会事務局へ提出する事。年度内での移籍は1回限りとする。
- ③ 出場選手に変更があった場合は、各プール運営委員長に登録リストを提出し、承認を受ける。
- ④ 未登録選手をメンバー表に記載もしくは出場させた場合には、ただちに没収試合となり、以後の試合は出場停止処分となる。
- ⑤ 前記④に抵触したチーム、選手に対しては、出場停止処分の他に連盟懲戒委員会及び連盟審議委員会にて追加懲戒処分を課することができる。
- ⑦ 本大会は、女子の出場は認めるが上位の大会に繋がるSA・Aプールの参加は認めない。また、怪我等には充分注意すること。

5 競技方法

- ① A～Cの3プールに分けて、A・Bプール各16チーム、Cプール8チーム編成を基本とする。各プールの編成は、原則として前年度の成績をもとに編成する。
- ② A・Bプールはトーナメント方式で試合を行う。Cプールについては参加チーム数により試合方式を決定する。A・Bプールは敗者戦を行い、最終順位を決定する。
- ③ 試合日時は、平日は19時30分以降、土曜・日曜・祭日は限定しない。

6 競技規則

- ① IIHF国際競技規則に基づく。
- ② チームのベンチ入りの選手は、GK2名を含む22名以内とする。
- ③ 各ピリオド、ロス込み25分(3Pのみ20分)、休憩5分。

練習5分	1ピリ25分	休憩5分	2ピリ25分	休憩5分	3ピリ20分
------	--------	------	--------	------	--------

- ③ 第3ピリ終了時点で同点の場合は、サドンビクトリー方式による1名ずつのゲームウイニングショットを行う。
- ④ 試合開始前の整列時にGKを含む6名の出場選手が氷上に集合しない場合は、当該チームは不戦敗となり、対戦成績は0:15とする。なお、試合中、ペナルティーまたは怪我等何らかの理由でいずれかのチームが適切な人数(GKを含む6名)の選手を氷上に揃えることができなかった場合、その時点で没収試合とする。

⑤

7 運営方法

- ① 本大会の事務局並びに運営委員会を、(一財)札幌アイスホッケー連盟競技事業委員会、総務委員会、レフェリー委員会並びに事務局で構成し任に当たる。
- ② 運営委員長は(一財)札幌アイスホッケー連盟競技事業委員長がこの任に当たる。

- ③ レフェリーは、原則として3名制で行い、(一財)札幌アイスホッケー連盟レフェリー委員会が主審の任に当たる。
- ④ 本大会からラインズマンについては、オフィシャル担当チームで行うこととする。
ラインズマンについては後日開催する講習会受講者のみとし、必ず各チームから複数名受講すること(試合当日にレフェリーが確認する)。
- ⑤ 本大会に参加するチームは、競技役員2名とラインズマン1名の派遣義務があり、割当日時は後日通知する。
- ⑥ 派遣義務違反があった時には、本連盟懲戒委員会で審議し、反則金を含む処罰を決定する。
懲戒委員会決定を遵守しないなど、不正があった場合には出場停止を含む処分が課せられる。
なお、ラインズマン講習会未受講者がラインズマンを担当した場合も派遣義務違反とするので注意すること。

8 表彰

- ① 各プールの優勝、準優勝、三位チームを表彰する。(賞状・楯)
- ② 個人表彰は、各プールのベスト3を表彰する。(SAプールは北海道新聞社・連盟両方)

9 組合せ抽選会・運営委員会の開催について

- ① 平成27年9月18日(金) 調整会議終了後、月寒体育館にて行う。
- ② 参加チームは、必ず出席する事。(不参加のチームは派遣義務違反と同様に扱う。)

10 その他

- ① 本大会のAプール優勝チームには、次年度の国民体育大会北海道予選会の出場権を与える。
出場にあたっては、国民体育大会北海道予選会の大会要項を遵守すること。また、Aプール上位2チームには、今年度の(公財)日本アイスホッケー連盟会長杯北海道予選会の出場権を与える。
- ② 本大会における盗難、怪我等については連盟、運営委員会共に一切責任を負わないので、必ず、参加チームにおいて保険等の手続きをし、自チーム内で責任を負うこと。